



# シリーズ「文法」

その1 言葉の単位

この看板，何を禁じてる？

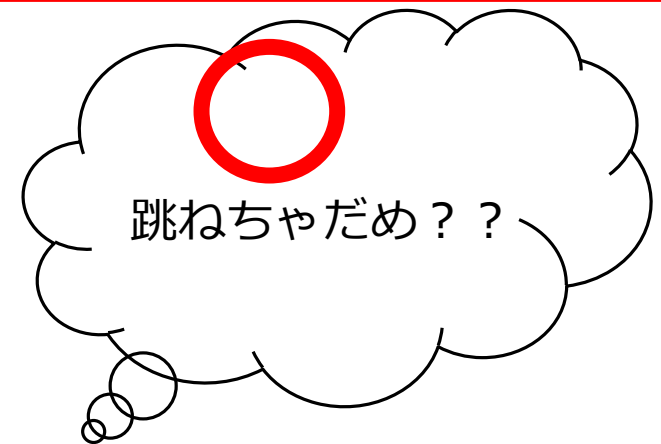
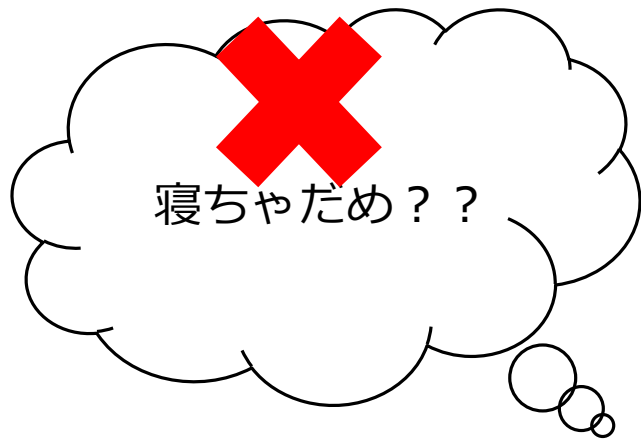
ここではねてはいけない！

寝ちゃだめ??

跳ねちゃだめ??

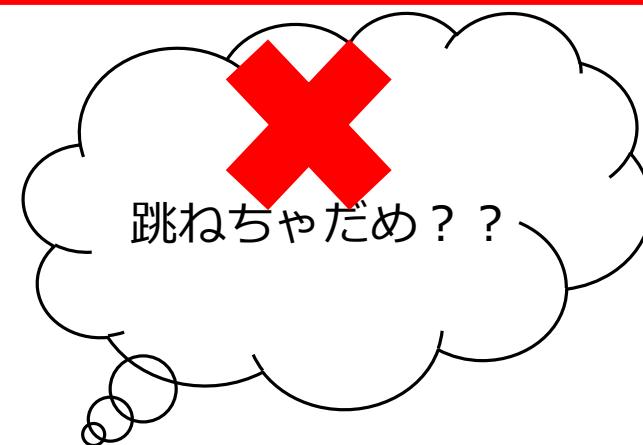
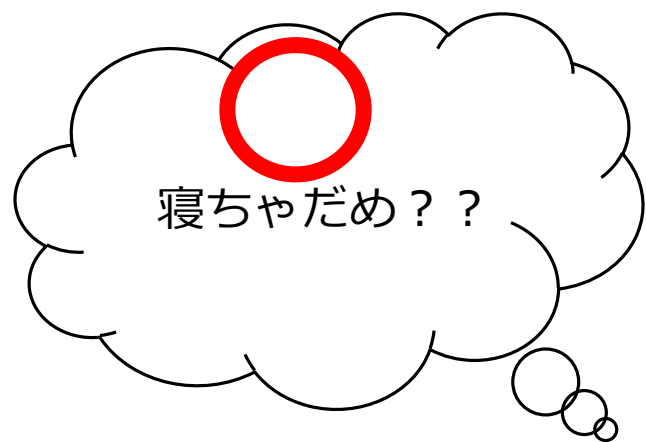
これなら分かるのに...

ここで はねてはいけない！



あるいはこれなら分かるのに...

ここでは ねてはいけない！



英語と日本語を比べてみると...

This is a pen.

言葉の切れ目がはっきりしている！！

意外とすごいことをしている！

This is a pen.

言葉の切れ目がはっきりしている！！

- ➡ 日本語には切れ目がないのに、知らないうちに自分で切れ目を判断しているんだ！すごい！！
- ➡ それじゃあ、僕らは無意識のうちにどんな言葉の切り方をしているんだろう？？

あなたならどう切る？

A これ／は／ペン／です。

B これは／ペンです。

A??それともB??

# あなたならどう切る？

A これ／は／ペン／です。

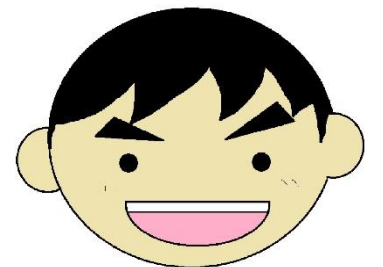
B これは／ペンです。

実はこれ、どちらも正解です。

ただ**切る**ときの**単位**が違っているだけ！



では、AとBはそれぞれどんな単位で切っているんだろう？？





# 2つの切り方

Aは「**単語**」という単位で切っています。

これは**最も小さい言葉の単位**で、これ以上切ると意味が分からなくなります。国語辞典には基本的に単語が載っています。例えば「これは」とか「ペンです」は載っていませんが、「これ」とか「ペン」とかは載っています。さらに、「です」とか「は」とかも載っています。家に国語辞典があれば調べてみてください。ちゃんと載っているはずですよ。

Bは「**文節**」という単位で切っています。

「文節」は、単語よりも一つ大きな単位で、「**文を、声に出して読むときに、言葉として不自然にならないように、できるだけ細かく区切った単位**」です。

他にも「**言葉の単位**」はあるので、次のページの一覧表で見てください。

# 言葉の単位

## 文章

- 文が集まって、まとまった内容を表したものの。特に書き言葉の場合を「文章」といい、話し言葉では「談話」という。

## 段落

- 長い文章の中の、内容によるひとまとまり。書きだしを一字下げること示されたまとまりを指すのが普通である。

## 文

- ひとまとまりの事柄や考えを表した、ひと続きの言葉。書き言葉では、文の終わりに「。」（句点）などが付く。

## 文節

- 文を、声に出して読むときに、言葉として不自然にならないように、できるだけ細かく区切った単位。文の組み立てのもとになる成分。

## 単語

- 言葉や働きを持った単位で、それ以上区切ってしまうと、その意味や働きが壊れてしまうもの。文法上の最も小さな単位。

# 今回は「文節」！

これまで聞いたことのある単位もあったことと思いますが、今回は「文節」に焦点を当てて勉強してみます。

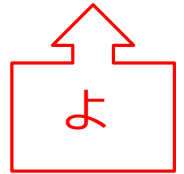
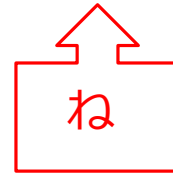
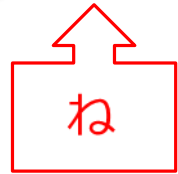
繰り返しになりますが、「文を、声に出して読むときに、言葉として不自然にならないように、できるだけ細かく区切った単位」が「文節」です。でも、この説明だけだとちょっとイメージしにくい！

だから、「『ね・さ・よ』を入れられるところが文節の切れ目」と説明されることも多いですし、実際に切りやすいと思います。

では、実際にさっきの看板の文を文節に切ってみます。

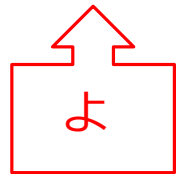
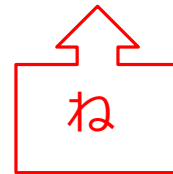
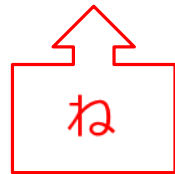
さっきの看板の例でいくと...

ここで はねては いけない！

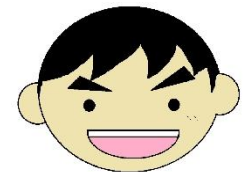


か

ここでは ねては いけない！



こんな風にして文節に切ることができるよ！



他の文でもやってみます

空に美しい虹が出た。

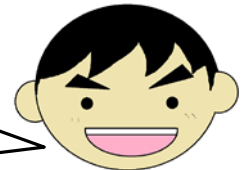


空にね美しいね虹がね出たよ。



空に 美しい 虹が 出た。

四つの文節に切ることができた！



# 練習してみよう！

それでは、練習です！次の①～⑤の文は、それぞれいくつの文節でできているかな？

- ①鳥が空を飛ぶ。
- ②小さな犬が走る。
- ③三つの「密」を避けましょう。
- ④今日は友達と遊びに行く。
- ⑤早くみんなと授業がしたい。

※ヒント 「ね・さ・よ」が入れられるところはどこかな？

# 答えです！

- ①鳥がね空をね飛ぶよ。→ 3 文節
- ②小さなね犬がね走るね。→ 3 文節
- ③三つのね「密」をね避けましょうね。→ 3 文節
- ④今日はね友達とね遊びにね行くよ。→ 4 文節
- ⑤早くねみんなとね授業がねしたいね。→ 4 文節

できたかな？少し難しかった？  
今回の内容は教科書のP32, 248～250辺りの内容でした。  
今回はここまで！

